

高井戸第四小学校地域 子育てネットワークニュース

令和6年3月 発行 高井戸第四小学校地域子育てネットワーク連絡会

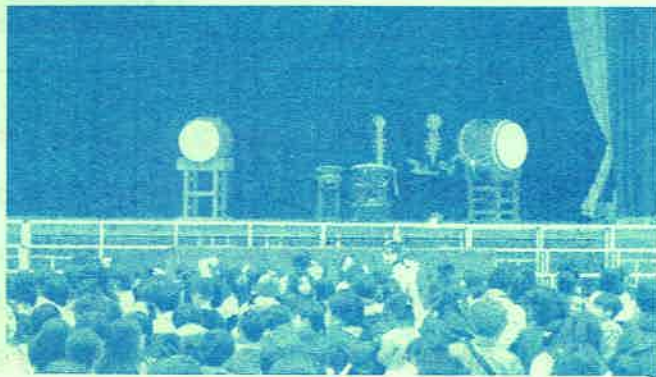
子どもを通して、であう、ふれあう、ささえあう、まちづくり

西荻南防災子どもまつり 報告

2023年11月12日(日)に、高井戸第四小学校の校庭と体育館で、西荻南防災子どもまつりを実施しました。

当日朝は小雨、急な冷え込みの寒空でしたが、午後には雨も止み、来場者も多く訪れました。

スタッフも含めた参加者数は、988名と大盛況、コロナ前のおまつりを上回る人数となりました。



開会式は体育館に入りきれないくらいの人が集まりました。



防災コーナーや車椅子体験では、普段できない体験がたくさんできました。



体育館では、工作コーナーや 囲碁将棋、魚つり、AED 体験などが賑わっていました。



小学生 158 人からなる子どもスタッフは、仲間と協力して楽しいお店をつくり、お客さんをもてなしました。今回はソースせんべいやカラフルソーダなどの食べ物のお店も出すことができました。寒い日だったので PTA のコーンスープや、防災ごはんも大人気でした。

子どもスタッフをやった小学生からは、「とっても楽しかった」、「食べ物屋さんが楽しかったし、おいしかった」、「お客さんがたくさん来てうれしかった」、「来年もお店やさんをやりたいです」など、たくさんの感想が寄せられました。また、おまつり後のネットワーク会議でも話題になった「いろんな年(歳)のおきゃくさんと話せて楽しかった」という感想も、準備した大人にとってはとてもうれしいものでした。今回楽しかった気持ちを忘れずに、来年もぜひ参加してほしいと思います。

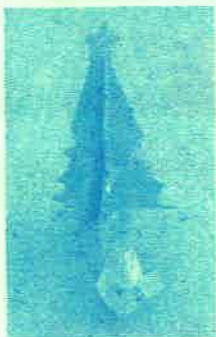
ご協力いただいた地域の大人の皆さん、本当にありがとうございました。引き続き、地域で手を取り合って、子どもたちの成長を見守っていただけると嬉しいです。

西荻南防災子どもまつり実行委員会事務局 西荻南児童館

子どもの作品、どうしてる??

今回のテーマは、

「子どもが学校や児童館などで作って、家に持って帰ってきた作品をどうしていますか？」です。幼稚園や保育園に入園してから中学校を卒業するまでに、図工、家庭科や技術で作る作品の数は大変な数ですね。成長の記録、思い出の品として取っておきたいでしょうが、置いておくスペースを考えると全てをそのままの姿で取っておくのは現実的ではないかも。寄せられたアイディアに、今回は高井戸第四小学校運営協議会会長、防災子どもまつりの実行委員長綾部晋策さんがコメントを付けてくれました。（青太字が綾部さんのコメントです。）



1. 場所を取るし、きりがないので思い切って捨てる
2. これはというものだけを取っておく
3. 写真などにして、スペースの削減をして取っておく
4. すべて取っておく

私の頭に浮かんだのはこの四つの方法です。もっと良い方法があるかもしれないので、いろいろな人に聞いてみました。もし悩んでいたら参考にしてください。



持って帰ってしばらくの間は飾ります。1ヶ月くらいたって子どもが忘れた頃に、こっそり思い切って捨てます。なので、家には子どもの思い出の作品はほぼありません。

子どもは毎日成長していくので、今日の作品よりも明日の作品の方がよいものになっているし。個人的には、現物が思い出としてあるより、心に残っている思い出がよいかな。

子どもがお気に入りの絵などは、キーホルダーなどに加工して父母にあげたりしています。手紙などは極力とっておいています。作品は子どもの様子を見てから処分しています。また、子どもが片付けられる箱を用意して期限を決めてとっておき、その後どうするか、子供に判断してもらうようにしています。

自分が幼稚園や小学校の頃の作品はどのような扱っていたのか、考えてしまいました。



持って帰ってきた日に、一緒に見てから捨てる。年に一枚くらい残しておく。ほとんど捨ててしまうので、残った作品は素晴らしいんだと思える。1年間残したら捨てる。

「持って帰った日に捨てる」と聞くと色々な意見が出てきそうですが、「一緒に見てから」というのと、残った作品をもう一度見て素晴らしいんだと思うところが優しい。

私の家では、多くの作品がとってありました。取ってあったという聞こえが良いですが、言い方を変えれば捨てることもできないで放置されてだけ。

ちなみに、二十年も放置されると紙は劣化して白が茶色に、樹脂系の素材部分はやはり劣化で触っただけで崩れた物もありました。



子どもに持たせて写真を撮り、アルバムとして残しています。これからは、こういう方法が主流になるのかなあ。





のは
もあ



て祖
ように
うにし
ヶ月
に判

を受け

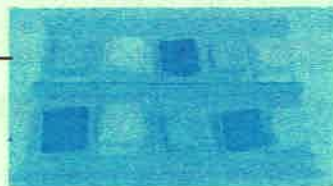
...



しばらく、棚の上などにかざっておきます。(ズボラなので特に期限を決めているわけではありません。)

しばらくしてホコリが積もった頃にこっそり捨てたりしています。その頃には子どもの熱もさめているので大丈夫。親子とも気に入った作品は、写真にとったり、箱に入れて保管したりしています。

「こっそり捨てる」、「子どもの熱がさめて」、この言葉に全てを保管していると大変なことになる未来を予想する能力の高さと、子どもへの愛の強さが。



工作と手紙に分けて写真で撮影。PC上でフォルダ分けして、「工作」、「手紙」のデータで保管。年度別にしておくと、いつの作品なのかの分かるのでよいかも！

画像にしてデータで保管ができる、今だからの方法。家でも長い間現物を飾っていたものがあつたけど、猫におもちゃにされてポロポロになったり、素材が劣化してポロポロということも。



取っておくものと捨てるものを子どもと相談して決めて、大きいものはおじいちゃん、おばあちゃんの家に行く。

おじいちゃんとおばあちゃんは何と仰ってますでしょうか？

良いおじいちゃんとおばあちゃんですねえ。私とその立場なら、丁寧に断りしちゃうな。



作品を入れておく箱が用意してある。その箱からあふれた分は仕方なく処分しています。箱の大きさが知りたい。



ダンボール箱に詰めて残しています。大きくなると言ってくれない「ママ大好き」など書いてあるものは冷蔵庫に20年近く貼ってあります。大人になり会話もなくなってきましたが、作品が貼ったままなのは嫌がらないので、そんな時はかわいかった頃の子どもの思い出しがんばれますよ！

ほのほのとした話です。私の家でも、この間まで小学校低学年の時の作品が壁に貼ってありましたが、さすがに捨てました。息子も30歳を越えたもので。

子育てネットワーク連絡会の席である方が話してくれました。

その方はお孫さんがまだ小さい時に、家に来るたびに書いてくれた手紙や、絵を取っておいたそうです。

それを最近、親子三代(絵や手紙を書いていたお孫さんは、二十歳だそうです。)と一緒に見て、楽しい時間を過ごしたそうです。

図工の作品ではありませんが、作品にとって最高の使われ方、無理のない本当のSDGかな？

子どもたちの作品について、保育園の先生方にも聞いてみました

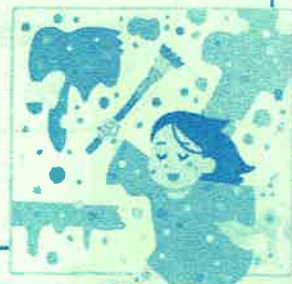
保育園では、自由に描いたり作ったりして、日頃から制作を楽しんでいます。その日に持ち帰ることも多いのですが、クラスに飾ってから後日お渡しすることもあります。

1歳児クラスでは、入口にガーランドのように紐をかけ、1人ずつマークのついたクリップを付けて作品を飾っています。一つ一つが、みんな違ってすてきな作品です。お迎えの時に他のお子さんの作品も見てもらえ、一人ひとりの作っていた様子も話題になります。

他のクラスでも、出来上がった作品を室内に飾ることで、子どもたちも自分の！と嬉しそうにしています。担任が渡す時は、一言添えて子どもの思いやイメージを伝えています。

家に持ち帰った後は、「家に飾りました」、「作ったケーキで一緒にごっこ遊びをしました」などと保護者の声が聞かれることもあります。期間を決めて決まった場所に飾ったり、写真や動画に撮って思い出の作品として記録して残してもいいですね。

大宮前保育園



乳幼児期の子ども達は絵を描きながらたくさん話をするので、絵は『言葉』とされています。その言葉を拾いながら絵を部屋に飾ります。クレヨンや絵具で描くうちに色々な色が現れて、「わあ。」と色の変化を楽しみ、色の混ざりを発見します。色が重なると紙が真っ黒になったり、穴が開いたりするので出来上がりを見ただけでは、なにこれ？と思わず言ってしまうそうです。でも描きながら話している言葉に耳を傾けると何に気づき面白いと感じたのかがわかります。できれば絵を見ながら絵を「聴いて」ほしい。絵でも工作でも、出来栄だけで評価せず、捨ててしまう前に子どもに聞いて、時には絵画のように額に入れオブジェのように飾ってたのしんでみたらよいのでは。

小規模保育施設宮前北



【編集後記】 まもなく節分というある日、児童館の図工室ではチラシを丸めた棒作りが大流行。聞けば「鬼をやっけるための棒」とのこと。長い棒、固い棒、ジョイント式で長くなる棒、お箸にもなる棒、色付き、さや付きと、それぞれ工夫された棒をみんなが作り、みんなで掲げてニヤニヤしていました。倒すべき鬼は来なかったのですが、みんなでワイワイ作っている時の子どもたちの目はキラキラと輝いていました。ただのチラシを丸めた棒なのですけどね。



ネットワークニュース発行にあたり、アイデア収集から発行までに時間がかかってしまい、申し訳ありませんでした。ご協力いただいた方々、ありがとうございました。

西荻南児童館



●高井戸第四小学校地域子育てネットワーク連絡会構成団体●

西荻南一・二丁目南部町会、西荻南中央会、西荻窪町会、宮前三丁目会、汝の花生活学校
宮前青少年育成委員会、青少年委員、荻窪民生児童委員、宮前民生児童委員、主任児童委員
たから幼稚園、小学館アカデミーにしおぎ南保育園、杉並西荻窪雲母保育園、西荻南学童クラブ父母会
高井戸第四小学校運営協議会、高井戸第四小学校 PTA、高井戸第四小学校、神明中学校
大宮前保育園、小規模保育事業所宮前北、荻窪保健センター、荻窪子どもセンター、西荻南児童館

【事務局】西荻南児童館 杉並区西荻南3-5-23 電話03-3334-0903